



ニュースレター

Vol. 109

発行日 2013.2.10

編集 NPO 法人

あきたパートナーシップ事務局

連絡先 TEL 080-5566-6238

FAX 018-829-5803

特定非営利法人あきたパートナーシップ 10周年を迎えて～さらなる発展を！～

1月27日(日)秋田ビューホテルにおいて、当法人の10周年記念式典・祝賀会が開催されました。

菅原展子理事長からは、10年間の当法人の活動の説明の後、全国の中間支援組織や県内のNPOセンターと連携しながらNPOの先頭に立って牽引する気概を持つことや役員・職員共に一丸となって当法人のさらなる発展に努めていきたいとの挨拶がありました。

来賓としてお越しいただいた秋田県企画振興部次長黒木孝人様には、秋田県のNPOのリーダーとして、また、中間支援組織としてこれからも大いに期待をしているというお言葉をいただきました。



挨拶をされる菅原理事長

続いて、功労者表彰では、寺田内科医院院長寺田俊夫様、遊学舎サポートボランティアの関新蔵様、原亮嗣様、佐々木幸子様が表彰されました。また、新ロゴマークの披露も行われました。



応募された21作品の中から選ばれたロゴマーク



功労者表彰

その後、「これからのNPOのあり方～改めてNPOの役割を考える～」と題して記念講演が行われました。

講師は認定特定非営利活動法人日本NPOセンター 常務理事・事務局長田尻佳史氏です。

「地域のNPOに求められる事」「参加と協働の意味と方法」「これからの支援組織にもとめられるもの」など話してくださいました。

次に行われたNPOトークセッションでは、講演講師の田尻佳史氏、当法人の前理事長で現在は秋田県議会議員丸の内くるみ氏、NPO法人Yokottar 理事長細谷拓真氏、菅原展子理事長の4人で進められました。

第2部の祝賀会では、NPO法人秋田県音楽普及協会(おんぷの会)さんのクラシック演奏が流れる中などやかに歓談が行われました。



NPO
トークセッション

日本NPOセンター
田尻佳史氏



第4回おしゃべりナイトルーム

12月6日(木)すでに順調に市民活動されている方、活動を始めたばかりの方、震災後に福島県から秋田県に避難してきた方、震災がきっかけで自分でもなにかしたいと考えていた方などが集まり、それぞれの活動や思いを語ってくれました。

後半では、コミュニティ・ビジネスの話に積極的な質問や意見などがでました。名刺交換なども積極的に行われ、ホットな雰囲気まま終了となりました。

NPO・ボランティア支援講座

広げよう 協働の輪 ～つながる力が、秋田を元気に！～

12月21日(金) 県北NPO支援センター、県南NPO支援センターの協力のもとNPO・ボランティア支援講座が開催されました。

協働事例の発表の後、4グループに分かれ「目指したい地域の姿」をテーマに協働の可能性を探りました。

参加者は事業提案の作成・発表を行うことで協働の仕方を体験し、スキルアップの場にもなったようです。このような講座は回を重ねることが必要ではないかとの意見もありました。

コーディネーターは当法人の畠山副理事長、ファシリテーターは、県内3地区の協働推進専門員と当法人高杉理事が担当しました。



おひな様を気仙沼へ



東日本大震災の被災地で役立ててほしいと託されたおひな様を、被害のあった宮城県気仙沼市南郷地区の保育施設へ贈呈しました。

第3回 SAVEJAPAN プロジェクト

秋田の身近な自然

希少な野生生物が棲む奥森吉

1月19日(土)NPO法人冒険の鍵クーンの村田君子氏を講師にむかえ、遊学舎多目的工房でイベントを行いました。

最初に奥森吉に棲む貴重な野生生物と、その森をどうすれば守っていけるかというお話をしていただいたあと、秋田杉の間伐材を使った万年カレンダー作りを行いました。

カレンダーの素材は、すべてが秋田産であることや、カーボンオフセットにつながるよう村田氏がこだわり抜いたものです。また、出来上がったカレンダーはいつまでも使えるので、カレンダーを見るたびに奥森吉への思いを馳せられるという狙いもあります。

来年度も SAVE JAPAN プロジェクトを行う予定です。



第3回シニアサロン 「楽チンな介護って、 あるのだろうか」

1月24日(木)秋田市でも例年になく大雪になったこの日、西木村に住む作家の浅利佳一郎さんが、講演のためいらしてくださいました。

お母様を介護したときの具体的な様子や心理状態を素朴な語り口で訥々と、でも熱く語ってくださいました。会場の、今まさに介護をしている方は、行き場のない辛い思いを質問という形で投げかけ、浅利さんや他の参加者の言葉に共感しながら頷いておられました。

後半語られた西明寺栗を使った地産地消の活動に関する楽しいお話に参加者はリフレッシュして、来る時より元気な足取りで帰っていく様子が見受けられました。

